

お客様のご要望に応える、実践的な品質関連教育サービスを提供開始
ー品質に関する組織体力向上にむけ、人材育成をご支援ー

先端設備とIT技術の活用、人と機械の協働による高い生産性や、高付加価値製品の開発等により、国内製造業のものづくりは、世界のマザー工場として評価される中、より迅速な製品開発、新規市場への参入、環境負荷の軽減に向けた新素材利用等を求められています。

一方で、品質事故は、メーカーの不適合コストの増加のみならず、SNS等の進展で瞬時にブランドの毀損を招くことになります。

富士通クオリティ・ラボは、長年の富士通グループの品質を支えてきた「品質に関する人材研修」を「お客様の品質に関するご要望に合わせた教育サービス」として本日より提供を開始します。

当社の品質関連教育サービスは、豊富な実績とスキルを有するスペシャリストにより、品質確保に向けたマインド醸成やモチベーション向上から、各種品質ツールの活用、開発プロセスの強化、法規制対応まで、お客様のご要望に合わせて、全9講座15コースをご提供します。

本サービスを通じて、製品ライフサイクル全般に渡って、高い品質意識を持ち、各種ツールの活用により、品質事故に繋がる不具合の早期発見と根本原因の究明、その改善施策を立案できる人材づくりと開発プロセスの一層の向上を図り、お客様の組織体力向上に貢献します。

【サービス内容】

お客様の課題に合わせ、教育メニューを組み合わせた最適なカリキュラムを提供します。

お客様のご要望	当社提供教育サービス (■が教育講座、「」内がコース)
品質マインド、モチベーションアップを図りたい	<p>■品質を考える 品質の重要性についてマインドを育成</p> <p>■発想の力が組織を変える 発想力を高めるための研修を通し、チームのモチベーションを上げるやり方を身につけ、新しいことに挑戦する活気ある職場づくりを支援</p> <p>■NEXT 思考ワークショップ 各々が自部門の将来を意識し、やるべきことを検討できる場を設定することで、組織としての課題を形成</p>

<p>品質手法が即、業務で活用できるようにしたい</p>	<p>■なぜなぜ分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「入門」 ・「開発部門向け」 ・「製造部門向け」 ・「運用保守部門向け」 <p>問題の根本原因の分析対象をプロセスに絞り込み、再発防止策をより導きやすくする作法を身につけるための講義と演習。</p> <p>各部門向けに、すぐに活用できるように、お客様の事例を元にカスタマイズして実施します。</p> <p>■品質管理手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「QC 7つ道具」 (チェックシート／パレート図／特性要因図／散布図／ヒストグラム／管理図／グラフ) ・「新 QC 7つ道具」 (親和図／連関図／系統図法／マトリックス図法／PDPC 法／アローダイヤグラム法／マトリックスデータ解析法) ・「統計的手法」(分布／検定／推定／相関分析) ・「信頼性管理手法」(FMEA／FTA)
<p>システム開発プロジェクト、ソフトウェア開発プロジェクトの品質問題を未然に防止したい</p>	<p>■CMMI®に基づくプロセス教育</p> <p>CMMI®が定めるプロセスに準拠して、プロジェクトが陥りやすい失敗を繰り返さないためのポイント、CMMI®の底流に流れる考え方に基づいて解説</p> <p>■Automotive SPICE®プロセス解説</p> <p>車載ソフトウェア開発への適合要求として求められる Automotive SPICE®の内容、およびプロセス構築と品質強化のポイントを解説</p>
<p>含有化学物質の法規制に対応した製品を製造、販売したい</p>	<p>■製品含有化学物質の基礎</p> <p>製品含有化学物質に関連する法規制、管理体制構築と運用のポイント</p> <p>■製品含有化学物質管理システムの監査員養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品含有化学物質管理システムと実施状況の確認ポイント ・富士通の事例による監査の流れと監査のミニ演習

【お客様の課題】

- ・品質の専門部門がなく、品質教育を何から始めていいかわからない
- ・業務の質の向上(例えばクレームやトラブルの情報の活用)に品質手法を活用したいが、自社の実態に合わせた形で学びたい
- ・現場にやらされ感が漂っているので、モチベーションアップのための場を設定したい
- ・外部の品質教育を受講させているが、一般論なので社内での活用が上手くできていない
- ・ソフトウェアの開発をしているが、プロセスの強化に向け国際標準といわれているプロセスを学びたい

【サービスの特長】

1. 多様な業種のお客様での豊富な研修実績

電子部品・電子機器分野のお客様に限らず、自動車関連・遊技玩具・IT サービスなど、幅広い分野のお客様での研修実績を誇ります。

2. 理解を深めるために、お客様の事例を使ったカスタマイズ対応

お客様の組織が直面する課題や、受講者本人がかかわる実際の事例を使って研修を行います。一般事例を用いた研修に比べ、より理解が深まり、定着度・活用度が飛躍的に高まります。

3. 業務で即、実践し活用できる研修内容

お客様の事例を使った研修のため、研修を通して得られた成果をそのまま業務にフィードバックできます。即効性のある研修としてご活用いただけます。

4. 富士通の社内外で研修実績のある講師陣

200 回以上の研修実績を誇り、また各種公的資格を有した講師陣が判りやすく解説します。

- ・ Automotive SPICE ® Principal Assessor 提携
- ・ Automotive SPICE ® Provisional Assessor 3 名
- ・ CMMI® SCAMPI Class-A Lead Appraiser 3 名
- ・ CMMI Instructor 1 名

5. 効率的かつ経済的なオンサイト研修対応

定期的な集合教育だけでなく、お客様の現場に伺うオンサイト研修にも対応しています。お客様のご都合に合わせたスケジュール・カリキュラムで提供します

【サービスの対象】

業種：製造業、情報通信業、サービス業

職種：設計・開発部門、製造部門、品質管理部門、営業部門、保守部門

【価格及び提供時期、販売目標】

価格：個別見積もり

提供：平成 29 年 7 月 3 日より

販売目標：3 年間で、100 ユーザへの販売を目指します。

【商標について】

・ CMMI®

CMMI®(Capability Maturity Model Integration、能力成熟度モデル統合)は、能力成熟度モデルの一つであり、システム開発を行う組織がプロセス改善を行うためのガイドラインです。

CMMI®は、米国特許商標庁に登録されています。

・ AutomotiveSPICE®

Automotive Software Process Improvement and Capability dEetermination の略。

欧州自動車メーカーの団体がサプライヤーのプロセス評価の目的で策定した自動車業界に特化した開発プロセスモデルです。

AutomotiveSPICE®は、VDA の登録商標です。

【関連リンク】

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fql/contact/education/index.html>

以 上

〈お問い合わせ先〉

富士通クオリティ・ラボ株式会社

メール：fql-contact@cs.jp.fujitsu.com

電話；044-874-2448（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日除く）